

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立笠岡工業高等学校		
実践者等	國富 勇樹	実践日	令和4年7月27日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)	実習のレポート提出		
対象生徒(学年等)	電子機械科3年		
育成を目指す資質・能力	☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		

分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化 ☒ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用 ☐ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化 ☐ その他 ()
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着

実践の内容

【授業】

実習のレポートを Classroom を使って提出させる。ドキュメントを使用し、Web で調べた内容をまとめて、記入させる。レポートの内容を事前に確認させることで、重点的に覚えなければならない項目、注意することなどを事前に把握できる。また、今までは提出して終わりになっていたレポートをいつでも閲覧できるようになり振り返りやテスト勉強に使えるようになった。



【本時と家庭学習との連動】

(本時後)

端末を活用することで、一人ひとりが主体的に調べながら取り組めるようになった。多くの情報を収集し、取捨選択しながら、自分なりに理解できるように内容をまとめる姿が多く見られた。提出の遅れも減少した。